

「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」

新旧対照表

都市の3Dデジタルマップのための製品仕様書（案） 新旧対照表

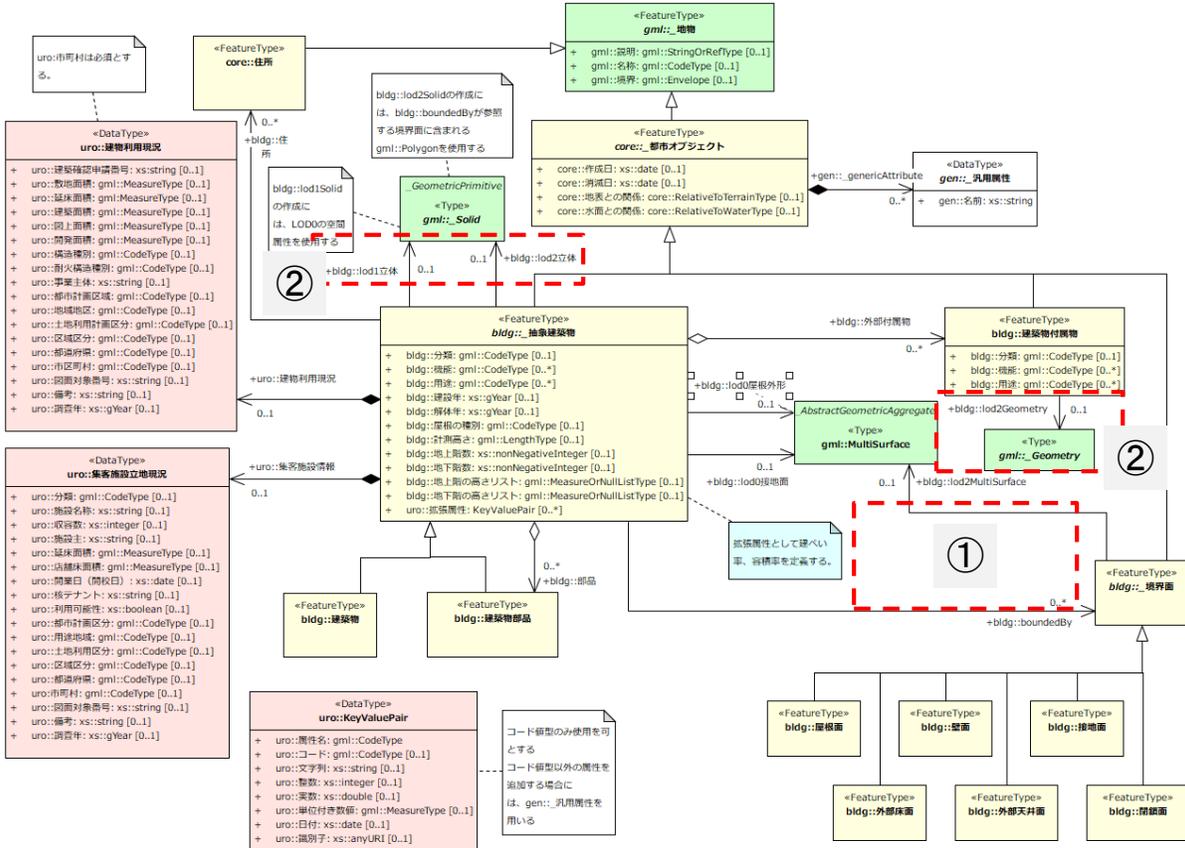
- 「東京都都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」 2020年度から2021年度の変更内容

地物パッケージ		2020年度→2021年度 東京都データ製品仕様書(案)の変更内容	引用・参照元
1	建築物	開口部(窓・扉)の追加	※
		LOD3ジオメトリ属性の追加	
		属性の拡張・追加(建物利用現況属性／災害リスク属性 / データ品質属性)	
2	都市設備	属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加	※
		LOD1～LOD3ジオメトリ属性の追加	
		属性の拡張(標識等の文字情報、品質情報など)	
3	汎用都市オブジェクト (その他災害リスク情報)	UDX/i-URIに定義されている地物及び属性を採用することを基本とし、その他の災害リスクとして、土砂災害警戒区域を採用	※
4	土地利用	土地利用現況属性の拡張(建蔽率、容積率など)	※
5	地形	変更なし	-
6	道路	属性定義の詳細化／コードリスト定義の追加	※
		LOD2/LOD3ジオメトリ属性の追加	
		属性の拡張(幅員、車線数、品質情報など)	
7	植生	属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加	※
		LOD1～LOD3ジオメトリ属性の追加	
		属性の拡張(品質情報)	
8	水部	災害リスク(浸水)に関する 属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加	※
9	都市計画情報	地物の細分化、属性の詳細化	※
10	橋梁	変更なし(都市局標準仕様書の対象外→東京都への反映事項なし)	-
11	トンネル	変更なし(都市局標準仕様書の対象外→東京都への反映事項なし)	-
12	地下埋設物	変更なし(都市局標準仕様書の対象外→東京都への反映事項なし)	-

1.建築物（屋外その1）

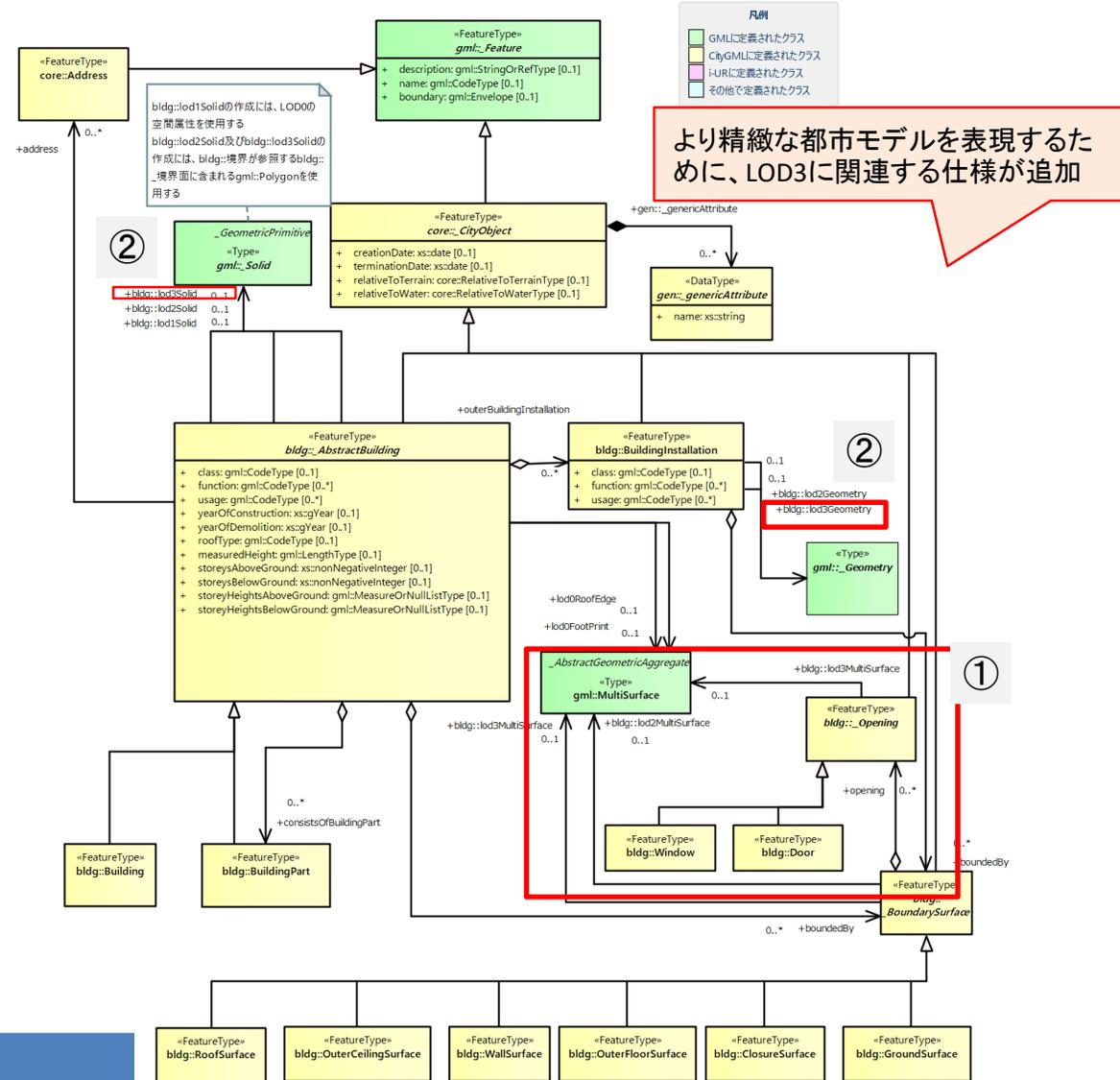
東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

建築物(屋外)



- ①開口部(窓・扉)の追加
- ②LOD3ジオメトリ属性の追加

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

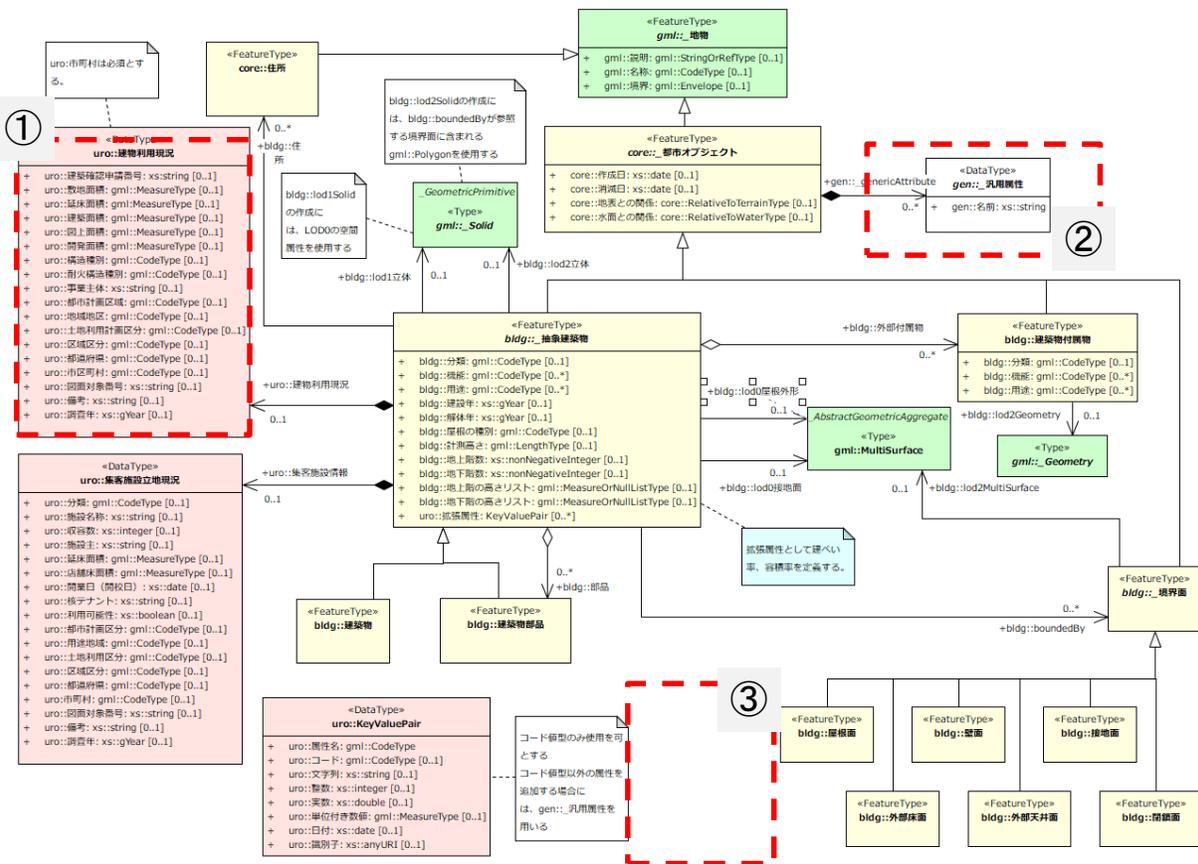


1.建築物（屋外その2）

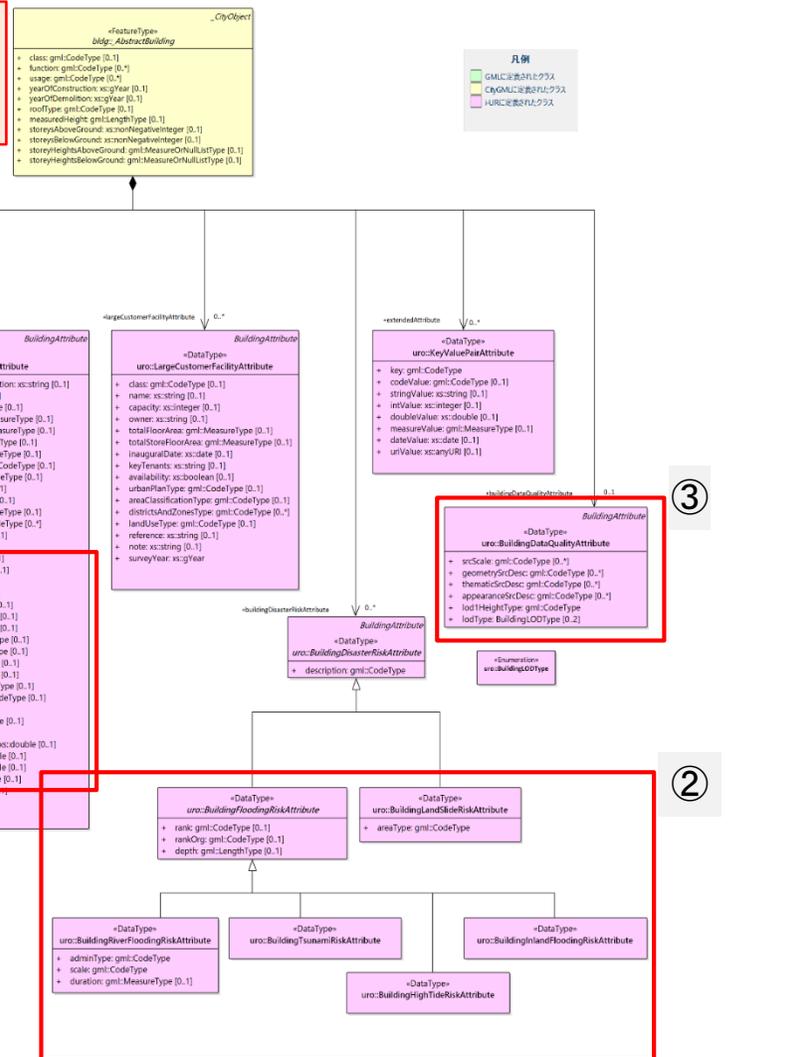
東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

建築物(屋外)



3D都市モデル標準製品仕様書」が引用する「i-都市再生技術仕様(案)」に新たな属性項目が追加



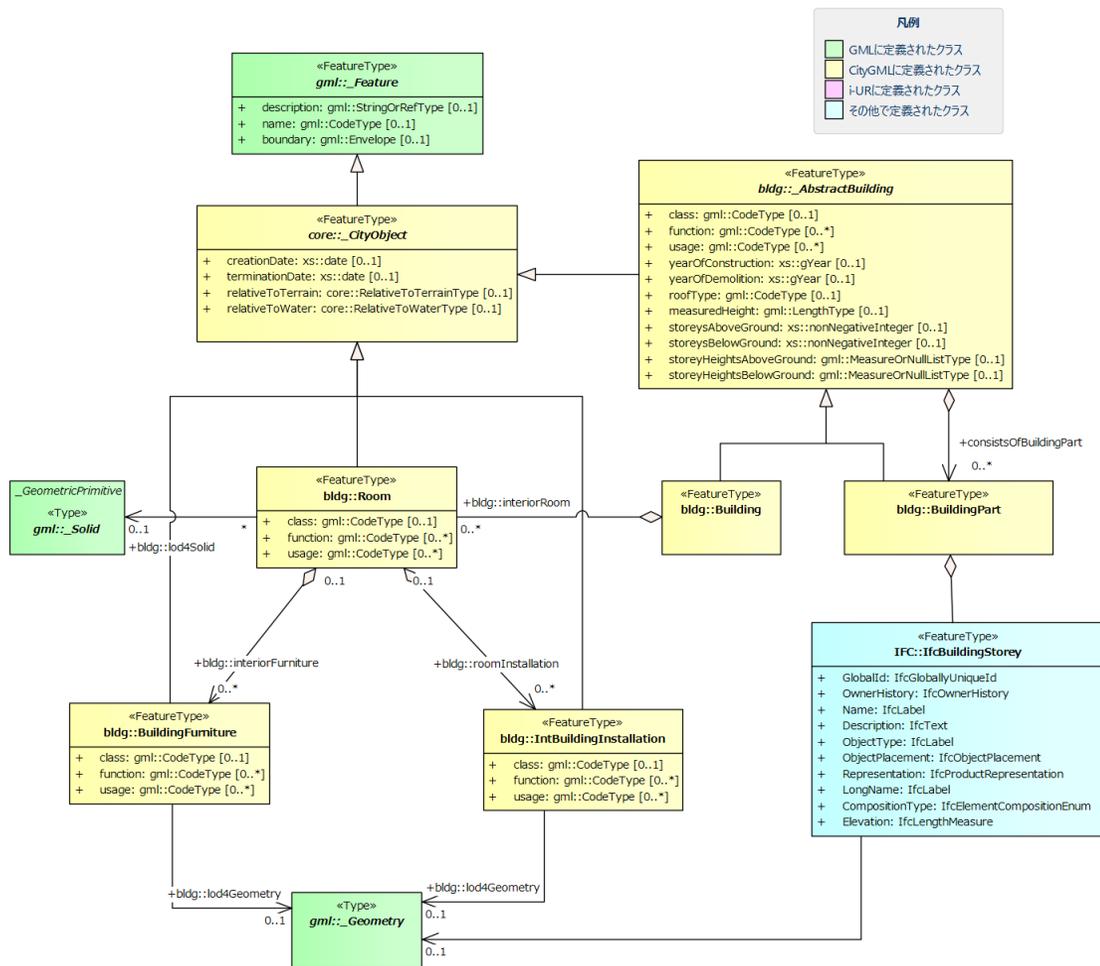
- ① 建物利用現況属性の拡張(主に都市計画基礎調査に関連する内容)
- ② 災害リスク属性の追加(ユーザ定義の汎用属性であった属性を、ADE(Application Domain Extension)としてルール化)
- ③ データ品質属性の追加(データセット内に複数の地図情報レベルやLOD等が混在する場合に使用)

1.建築物（屋内）

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

建築物(屋内)



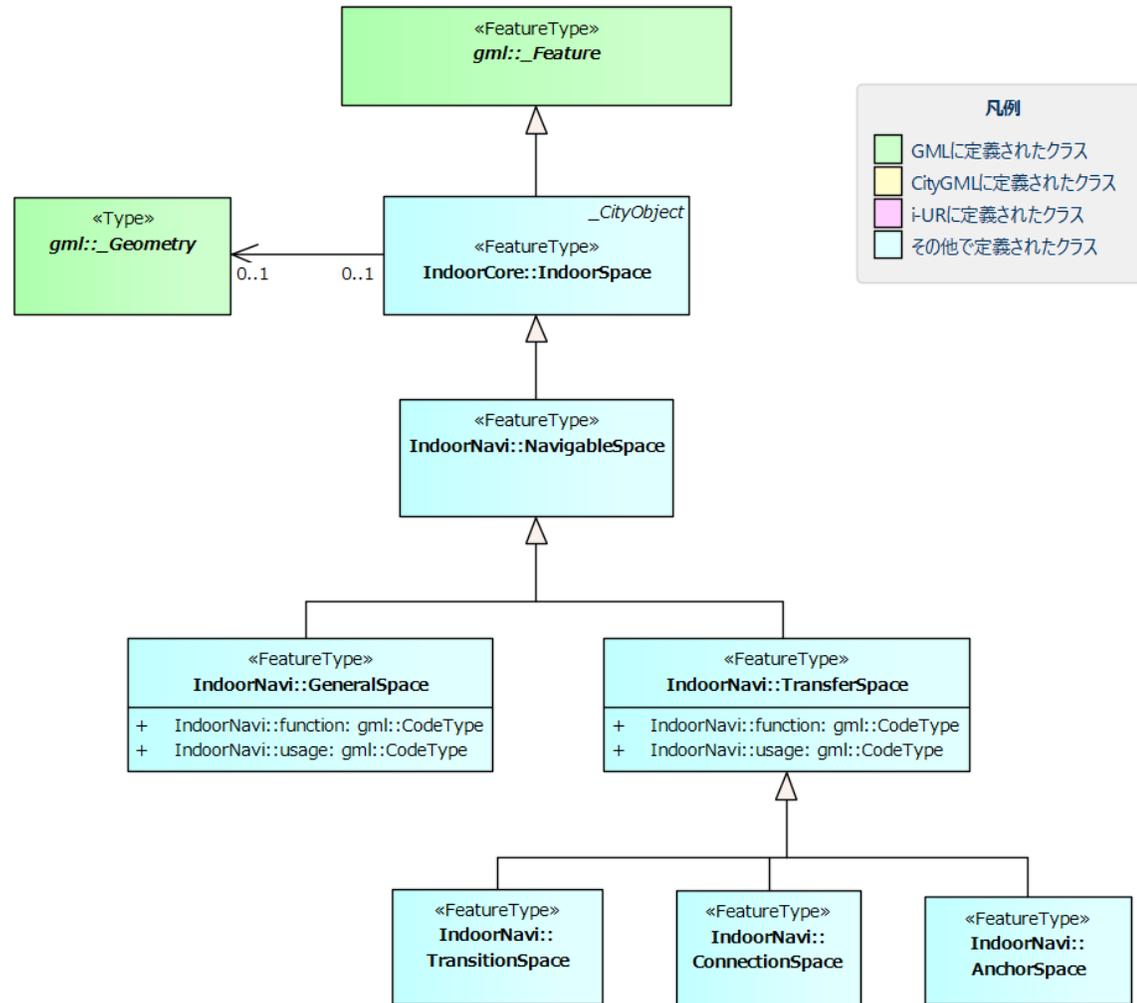
屋内は、
都市局標準製品仕様書案の対象外で
変更なし

1.建築物（屋内ネットワーク）

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

建築物(屋内ネットワーク)

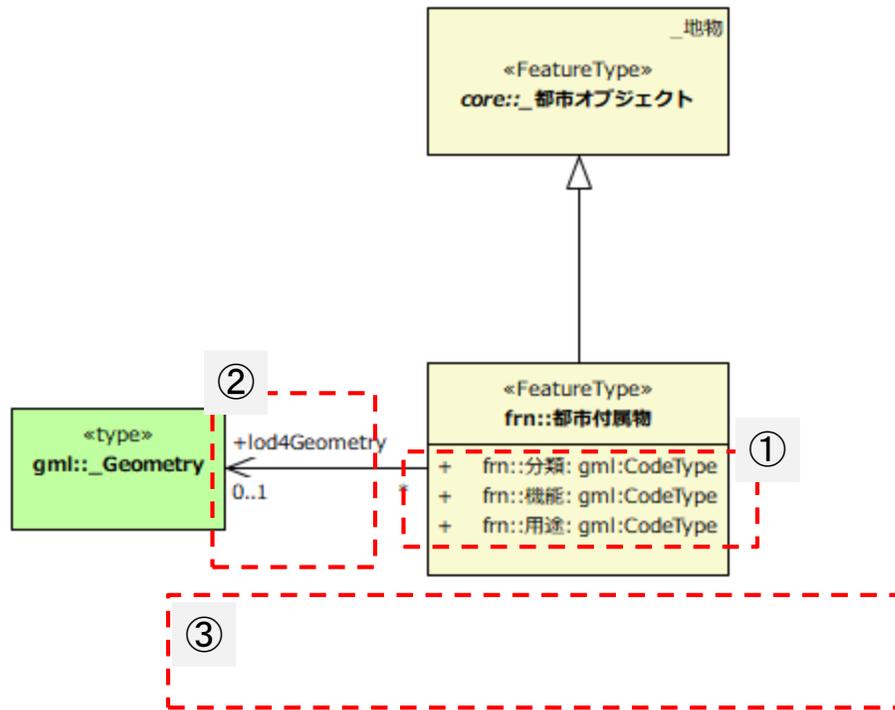


屋内ネットワークは、
都市局標準製品仕様書案の対象外で
変更なし

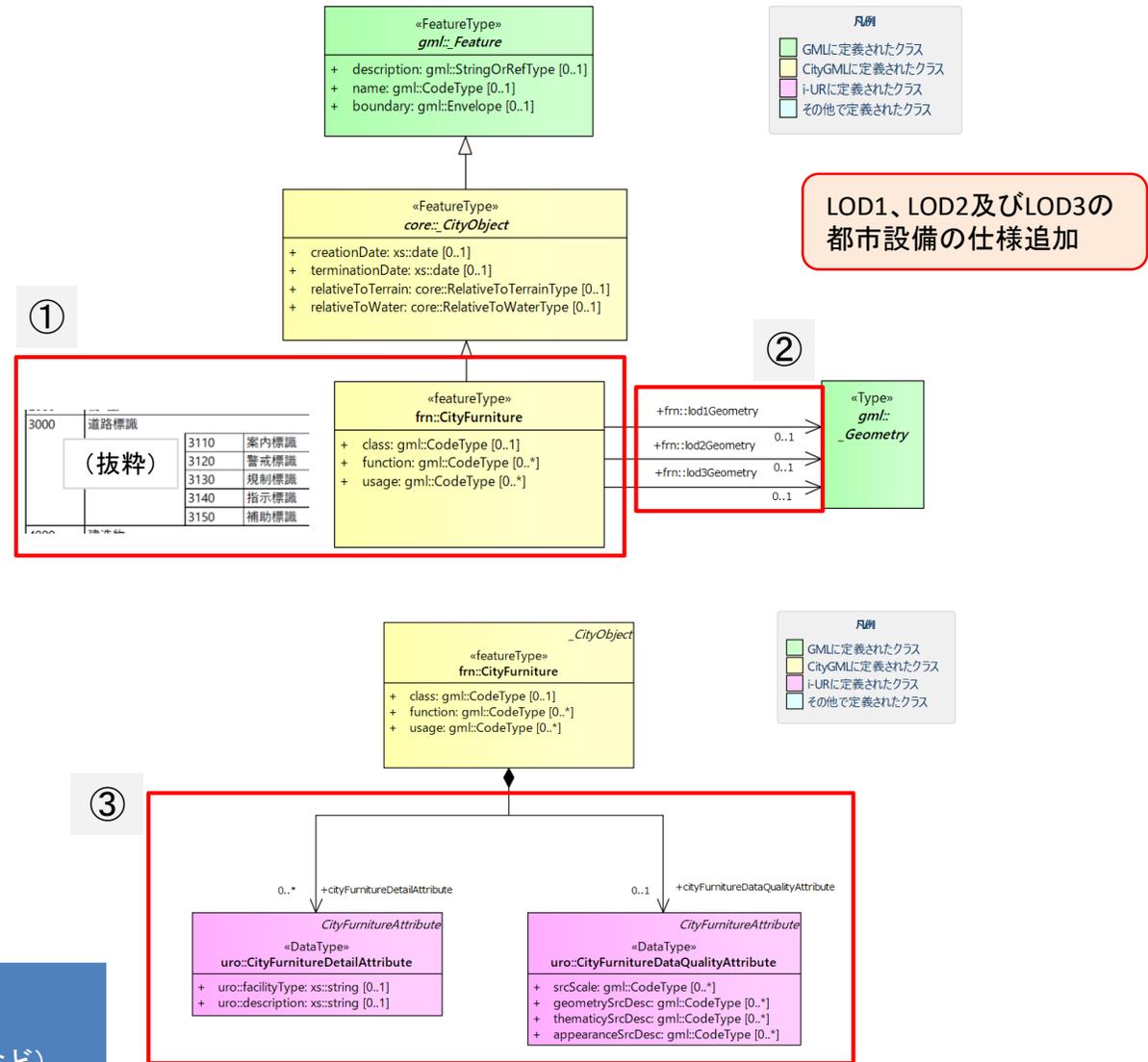
2.都市設備

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



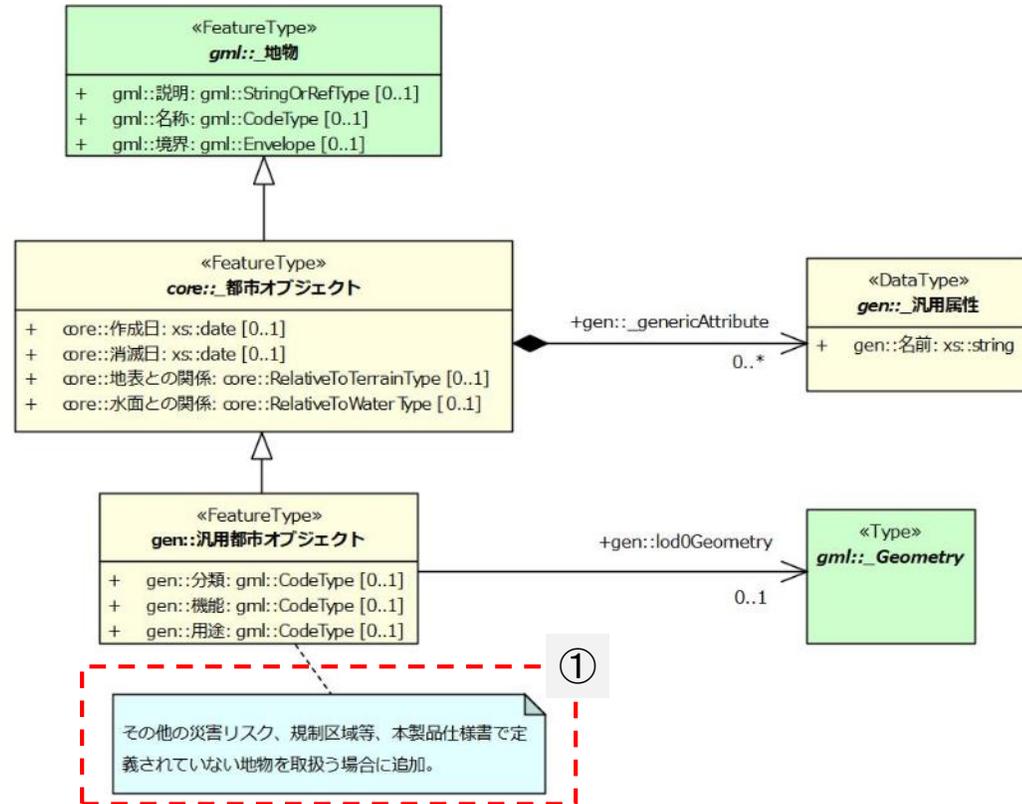
- ① 属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加
- ② LOD1~LOD3ジオメトリ属性の追加
- ③ 属性の拡張(標識・道路標示の文字情報、品質情報など)



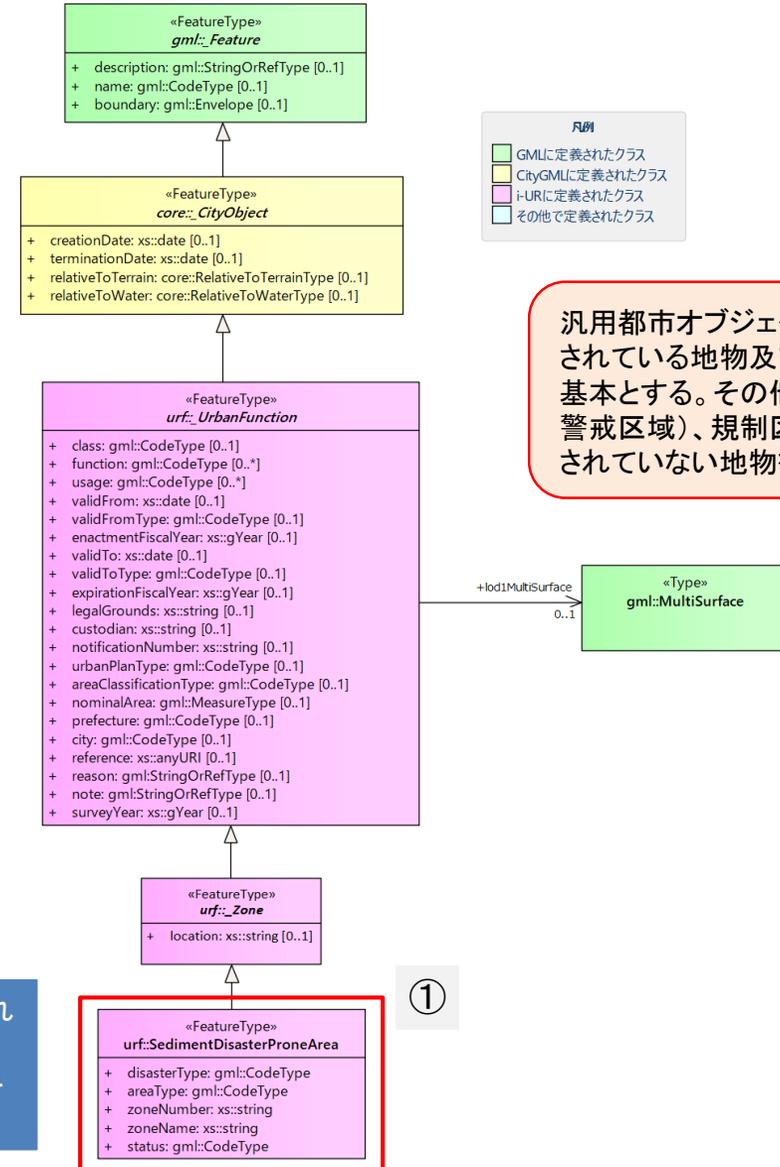
3.汎用都市オブジェクト（その他災害リスク情報）

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



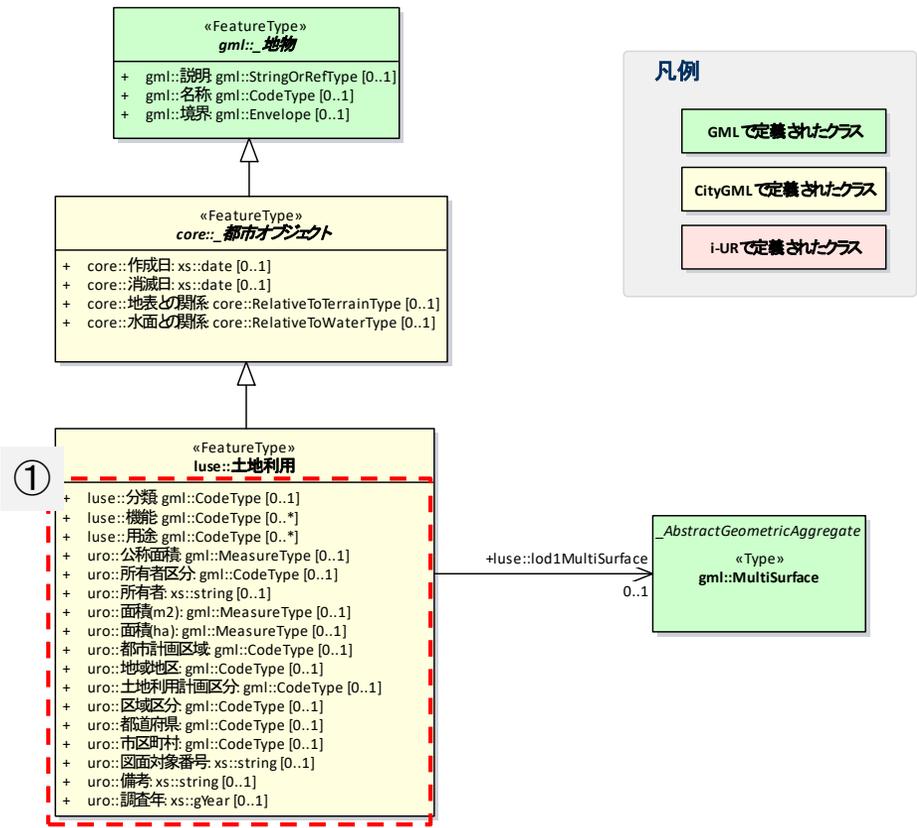
①汎用都市オブジェクトは、UDX/i-URIに定義されている地物及び属性を採用することを基本とし、その他の災害リスクとして、土砂災害警戒区域を採用



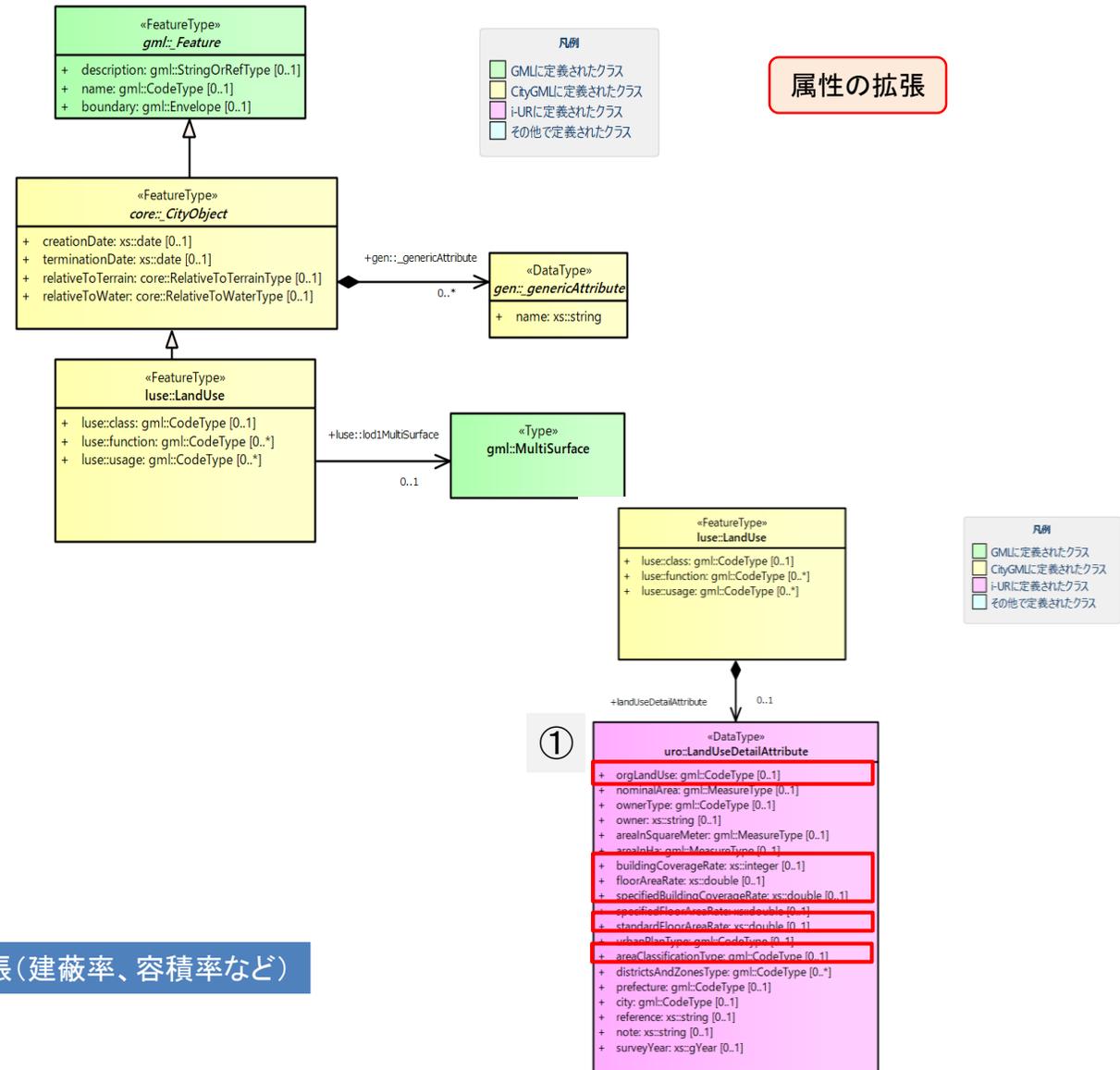
4.土地利用

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



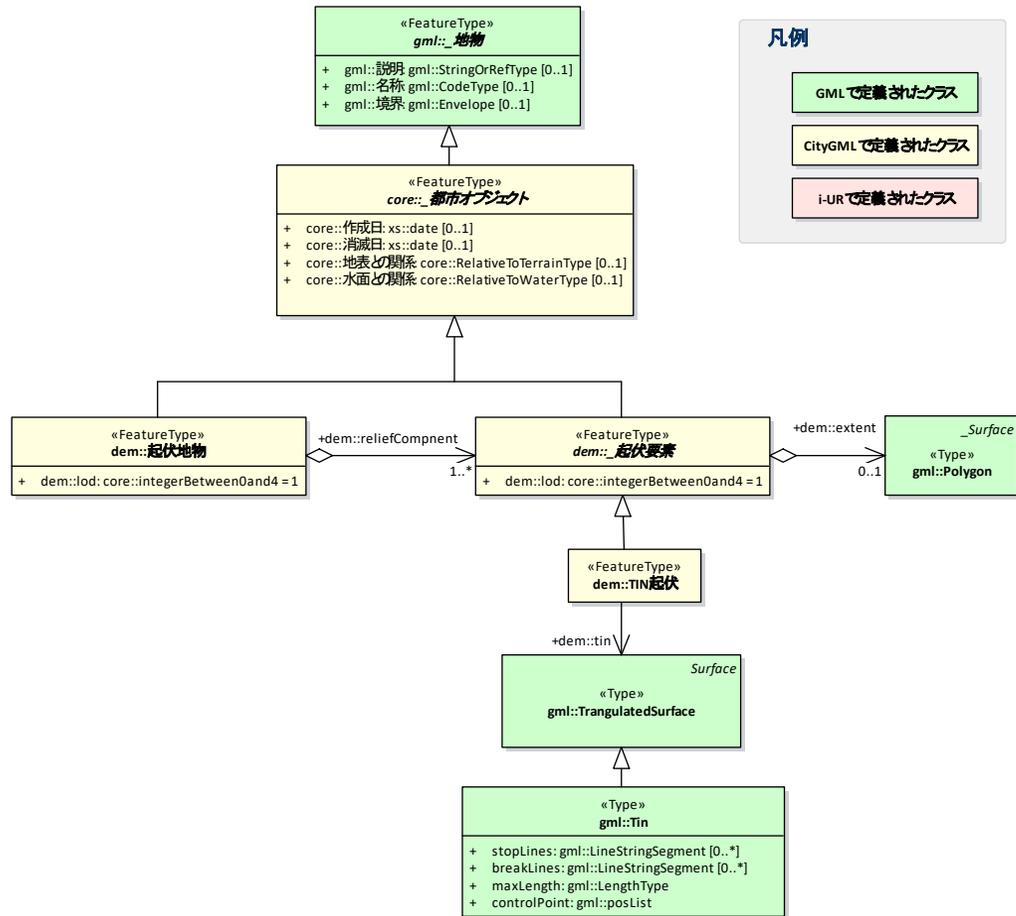
①土地利用現況属性の拡張(建蔽率、容積率など)



5.地形

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

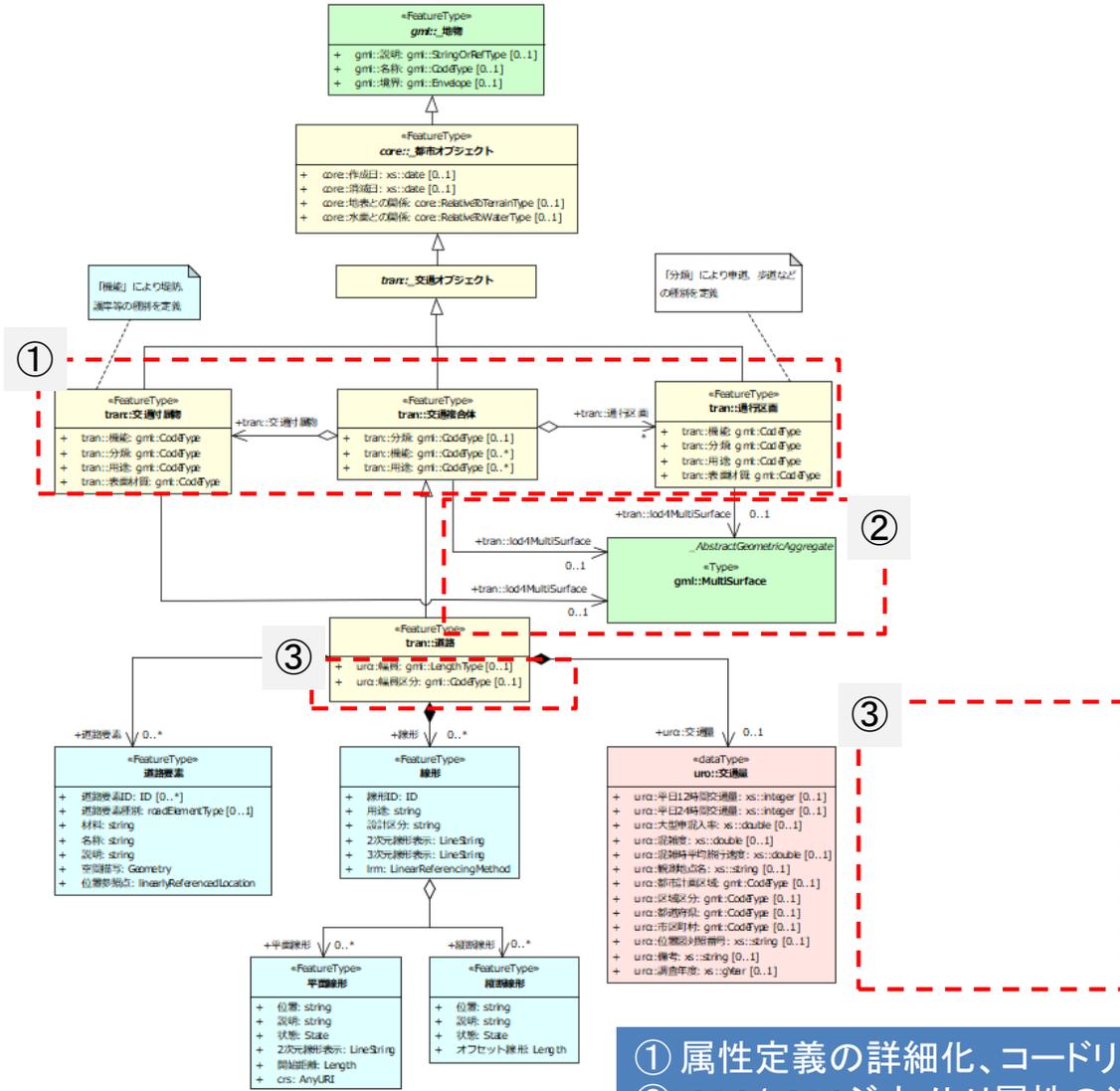


変更なし

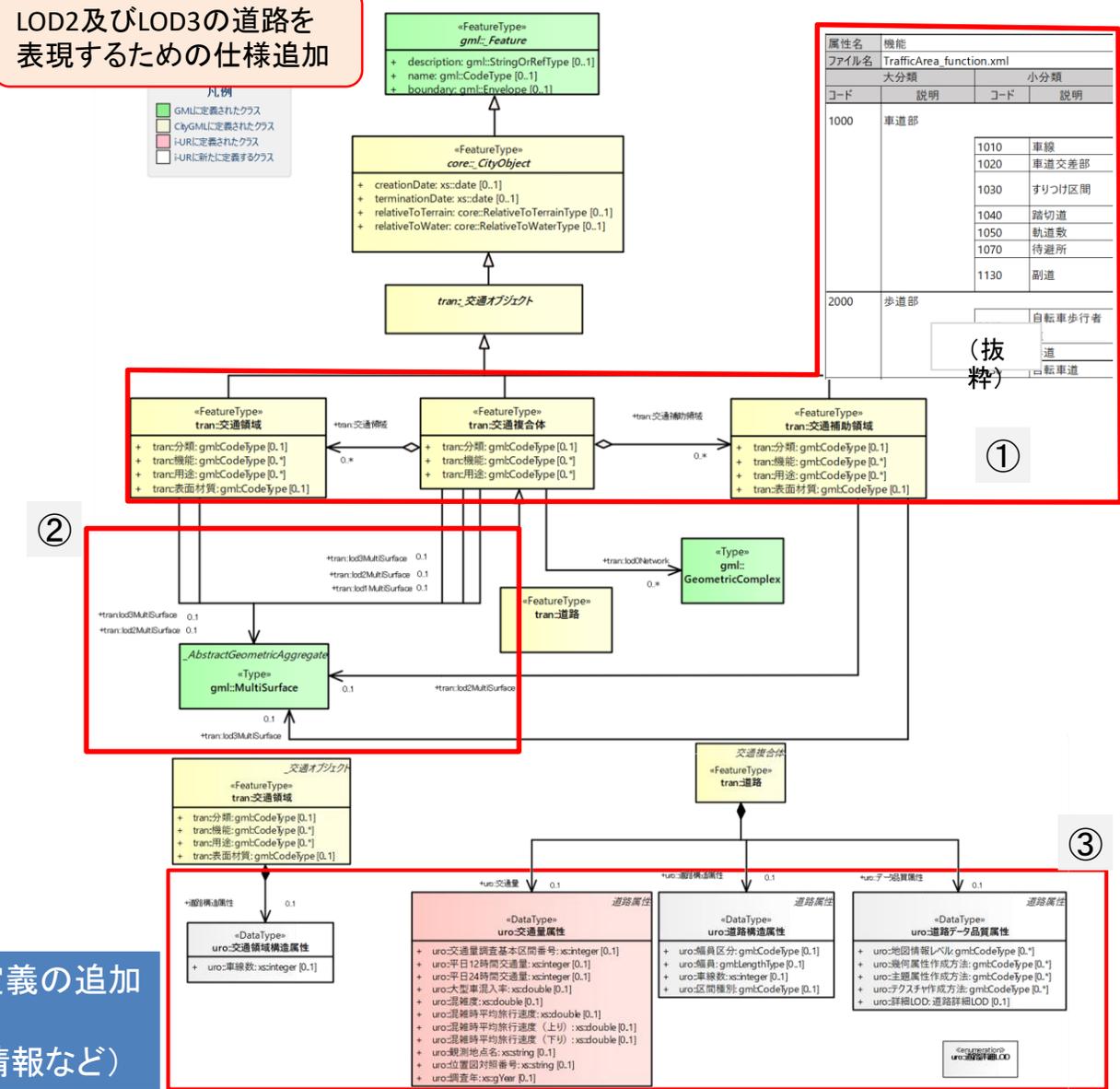
6.道路

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

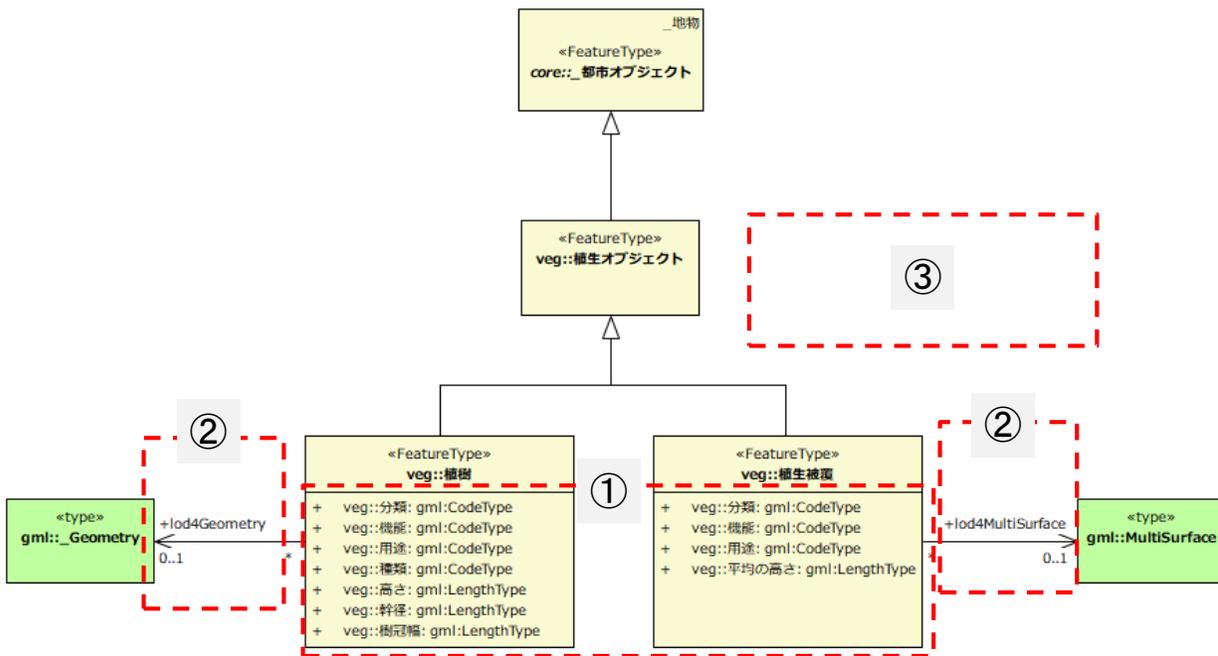


- ① 属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加
- ② LOD2/LOD3ジオメトリ属性の追加
- ③ 属性の拡張(幅員、車線数、品質情報など)



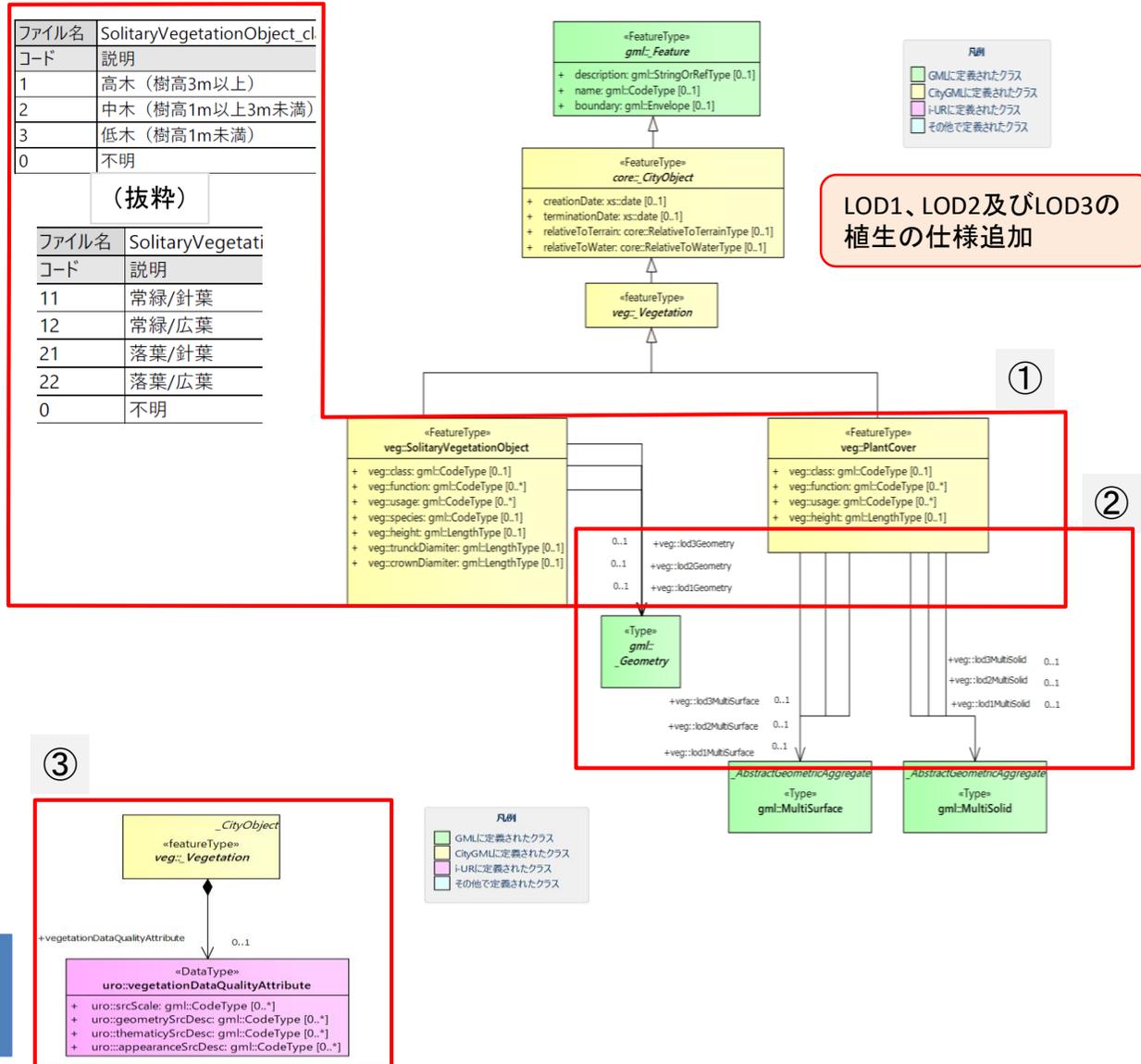
7. 植生

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03



- ① 属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加
- ② LOD1~LOD3ジオメトリ属性の追加
- ③ 属性の拡張(品質情報)

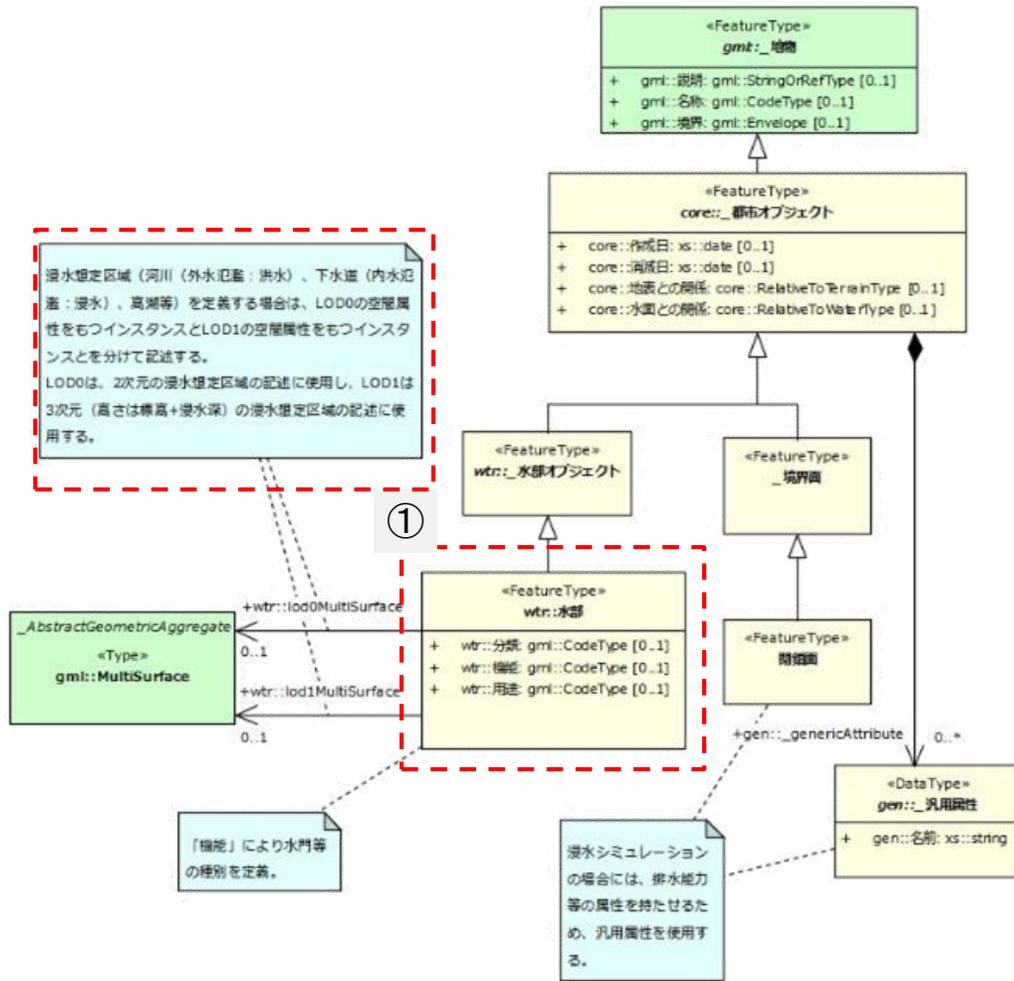
東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



8.水部

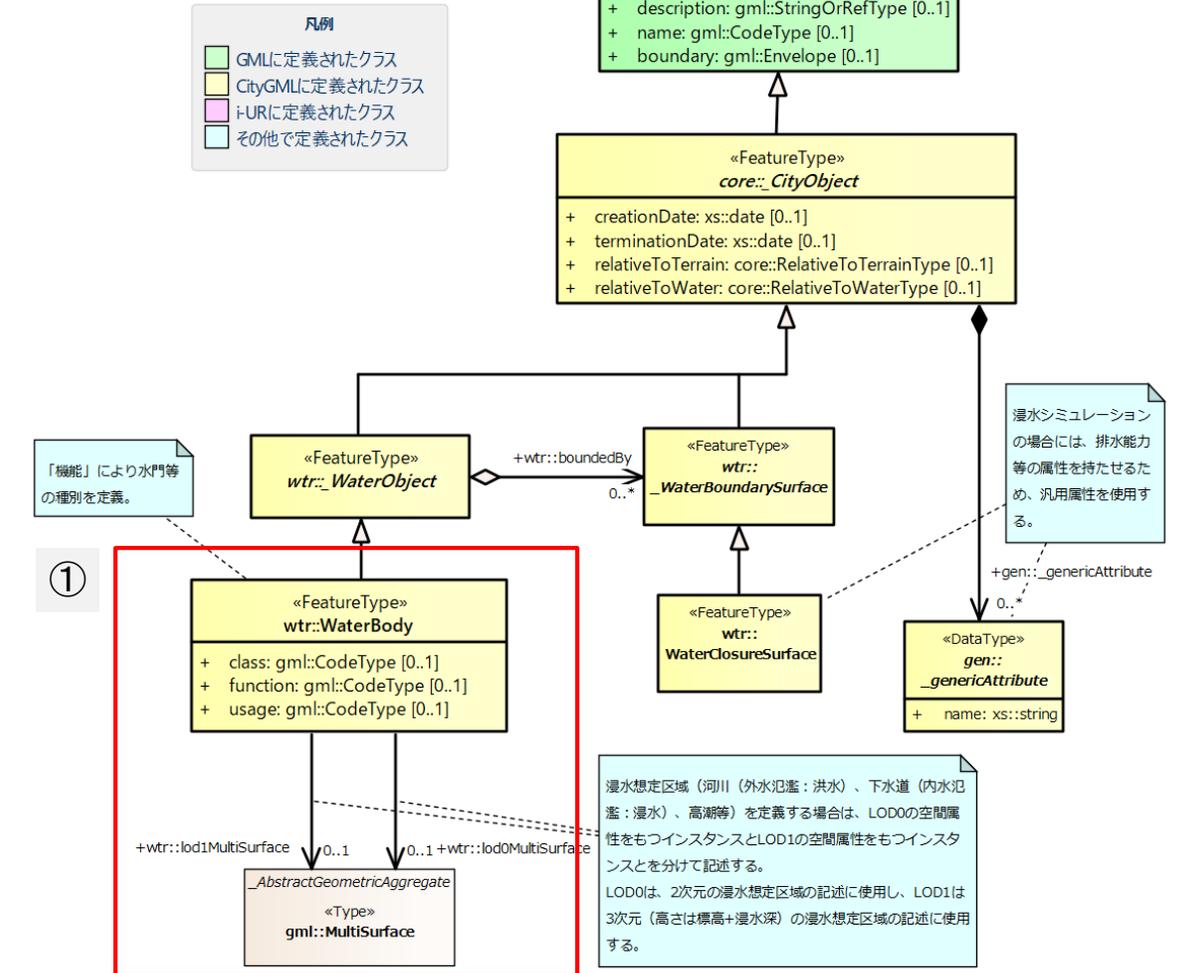
東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



①災害リスク(浸水)に関する 属性定義の詳細化、コードリスト定義の追加

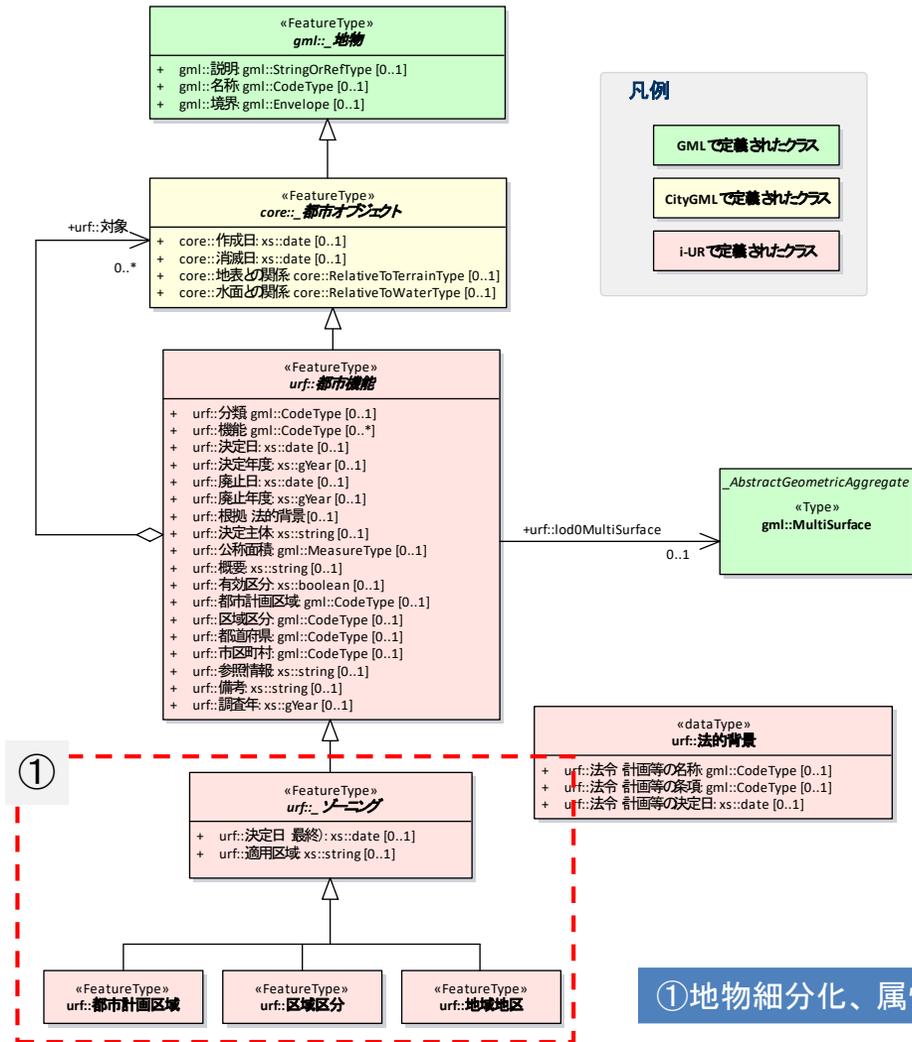
災害リスク(浸水)属性の追加



9.都市計画情報

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

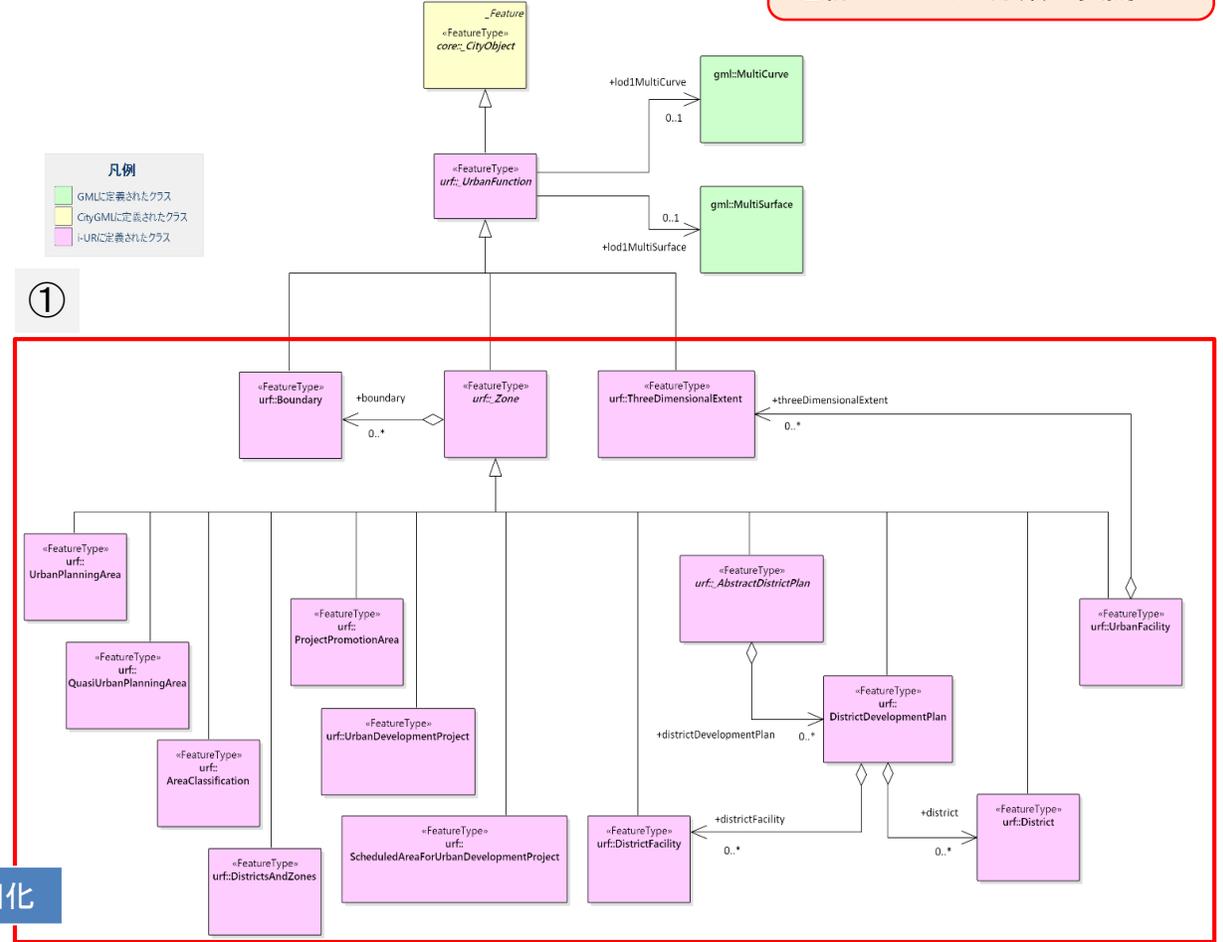
東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



①地物細分化、属性定義の詳細化

都市計画区域や地域地区のような、都市計画決定情報の各区域は、urf:: Zoneを継承し、定義される。
 なお、上図は地物型の名称のみを示している。地物型に定義された属性等は、「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」の36～49ページ 4.2.13 UrbanFunction (i-UR) (2)～(19)に示すUMLクラス図を参照

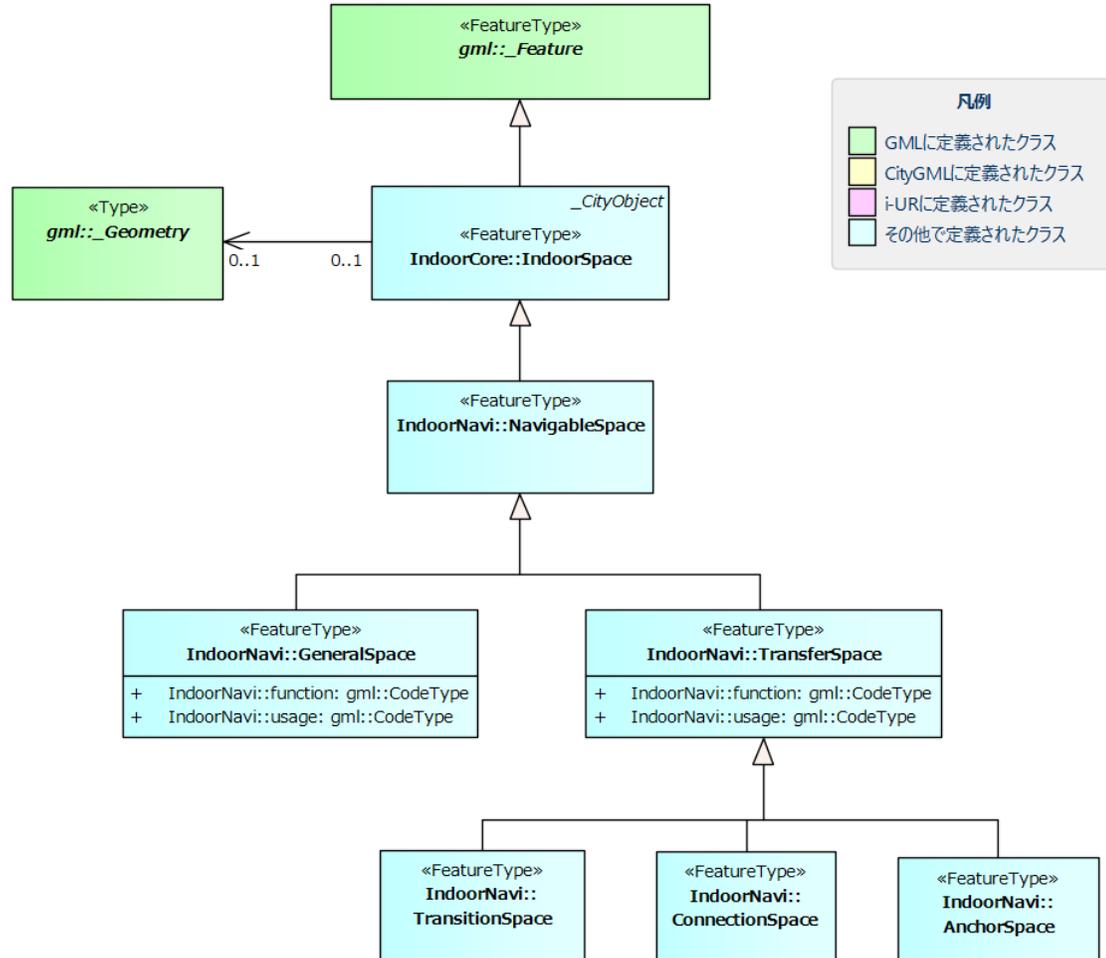
属性を用いた機能の分類から、地物レベルでの分類へ変更



10.橋梁

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



変更なし

～(参考)令和2年度PLATEAUの「橋梁」について～

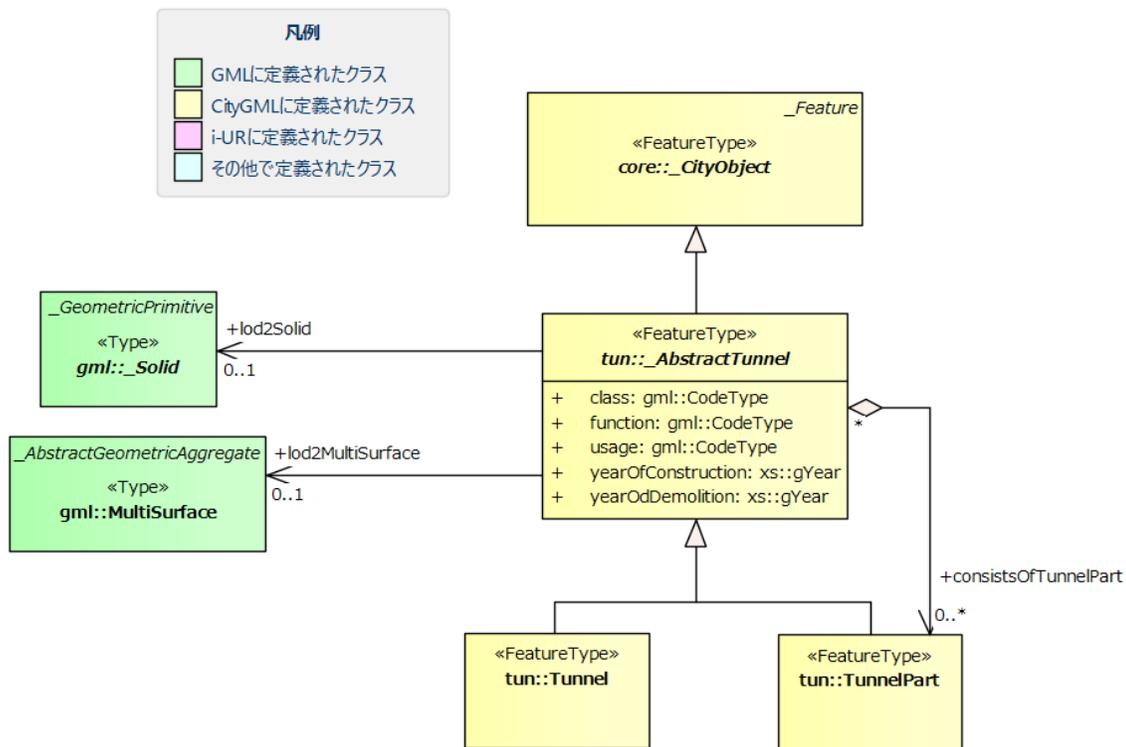
昨年度のProject PLATEAUでは、都市局標準製品仕様書では、「橋梁」は対象外であるものの、ユースケース実証による人流データの解析を想定したペDESTリアンデッキを含む「橋梁」のLOD2モデルが作成されています。こうした状況も踏まえ、東京都拡張製品仕様書では、CityGML.ver.2.0に基づく「橋梁」のデータモデルを追加しています。



11.トンネル

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03

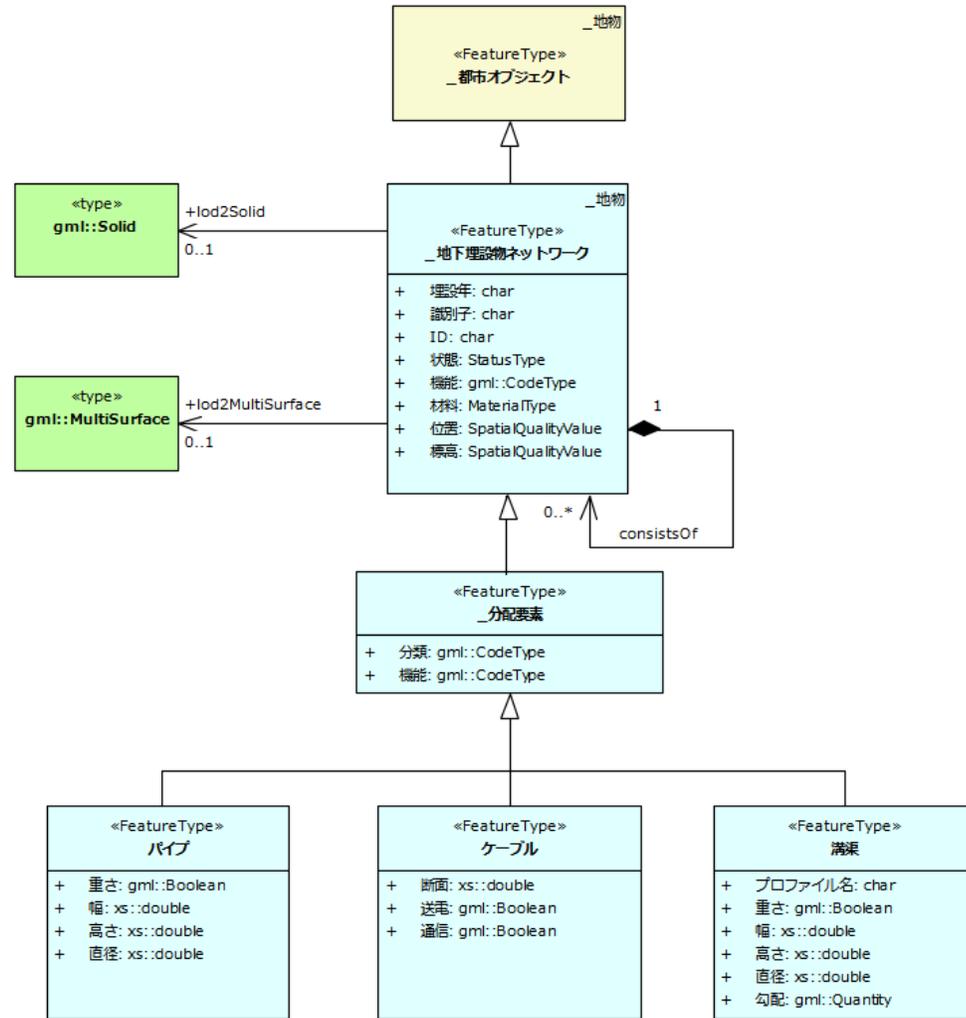


変更なし

12.地下埋設物

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2021-03

東京都「都市の3Dデジタルマップのためのデータ製品仕様書(案)」2022-03



変更なし